

＜感想＞ 2009年8月8～10日に中国黒竜江省ハルビン市にて開催された IWA Sludge Conference 2009（国際水学会、汚泥処理に関する国際会議）において、“A Comparative Evaluation of Sewage Treatment Systems from the Perspective of Energy Consumption”（種々の下水処理システムのエネルギー的側面からみた比較評価）というタイトルで口頭発表を行った。初めての国際学会、初めての英語によるプレゼンテーションということで、とても緊張したし、困難も多かったが、無事に終えることができほっとしている。会議は7つのセッションから成り、私はその中の **Sustainable Sludge Management: Policies, Legislation, Risk Assessment and Management**（持続可能な汚泥管理：政策、法律、リスクの評価および管理）というセッションにて発表した。同じセッションには、自分の研究と類似した発表もあり、非常に参考になったと同時に、改めて自分の研究をしっかりと進めなければという思いを抱いた。また、発表後に受けた質問から、聴衆がどのようなことに関心を持っているのかということがわかったと同時に、自分の研究のアピールポイントを再確認することができ、今後研究を進めていく上で非常に有益であった。発表の他にも、基調講演などで、世界の下水汚泥処理の現状、特に今後重要なポジションを占めるであろう中国の最新の状況を知ることができ、今後の汚泥処理管理を考えていく上でとても参考になった。

＜謝辞＞今回、国際学会にて研究発表を行えたことは、私にとって大変貴重な経験になりました。このような機会を与えて下さった研究室の先生方、発表練習に付き合っ下さった研究室の皆様、そしてこの発表を金銭的に支援して下さい下さった京都大学土木会様に深く感謝致します。